

・阪神淡路大震災から27年  
組合員が振り返る

・組合員活動の拠点使  
いつづぶく亭く紀和庵

・輝く！組合員！ 特別編  
年男年女に聞く2022

2・3面

4面

8・9面



# 北東西南 (NEWS) 2022年 新年号

発行所 和歌山高齢者生活協同組合  
住所 和歌山市里198-1  
電話 (073)488-1180

ホームページ

人生の完成期、輝いて生きる！

組合員数 4,347名 (2021年12月31日現在)

## 明けましておめでとうございます。



昨年はいくさんのご  
支援、ご協力に感謝申  
し上げます。

今年も和歌山高齢者  
生活協同組合とともに

歩んでいただけますようお願い申し上げます。

さて、昨年をふり返ると、災害時に様々な知恵  
や力が発揮されてきたことが思い出されます。一  
昨年、昨年と繰り返されてきたコロナ禍での感染  
拡大。高齢協の事業所では徹底した対応と、それ  
を活かしたマニュアル作り、今後の他の感染症対  
策を含めての検討が進められています。また、さ  
さえ愛センターや紀和庵などの「つどいの広場」  
でも、しばらくの休憩をはさんで自主的に工夫を  
重ねて開催が続けられてきました。

認知症者やご家族が集う「にじいろカフェ」は  
オンラインで開催し、全国とつながり、また、職  
員向けの会議もネット開催、他府県の高齢協とも  
パソコンの画面を通じて交流がなされました。

オンライン形式と聞くとなつて敬遠してしまう自  
分がいるのですが、着実に情報や交流が変化して  
きて、これまでと違う社会変革が起こっています。  
ただ、私のように情報のネットワーキ化に取り残  
され孤立している人に、高齢協が知恵と力を発揮  
する機会だと考えます。

和歌山市が全国に有名になった断水事故。和歌山

市の紀の川以北の住民14万人が影響を受け、高齢  
協の事業所や訪問先の方、組合員も含まれていま  
した。高齢協本部と事業所では対応策を検討し、  
すぐに行動を開始しました。幸いに南部は影響が  
なく、応援できました。日ごろ協力していただい  
ている事業所や団体からも多くの支援を受けてこ  
とができ、より関係が親密になりました。市内に  
は他府県ナンバーの給水車がたくさん救援に駆け  
つけてくれました。

災害時には日ごろ予想できない事態が起き、災  
害対応への不備が明らかになります。これらの課  
題を一つ一つ変えていけば組織は強くなっていき  
ます。笑顔と力強い言葉が多く聞かれた今回、高  
齢協の底力を感じました。

ただ、今回の事故は自然災害ではなく和歌山市  
の浄水場の削減が問題で、以前から指摘されてい  
ました。  
協同組合の活動は、人々が困難に直面している  
時、組合員や地域でつながり、それを高齢協とし  
て解決のために努力していく力を発揮すること  
が、その存在価値だと思っています。

和歌山高齢者生活協同組合は直面する困難な問  
題解決に取り組んでいきます。そのために多くの  
みなさんの活動への参加を期待しております。  
本年もよろしくお願い申し上げます。

和歌山高齢者生活協同組合理事長 田中秀樹

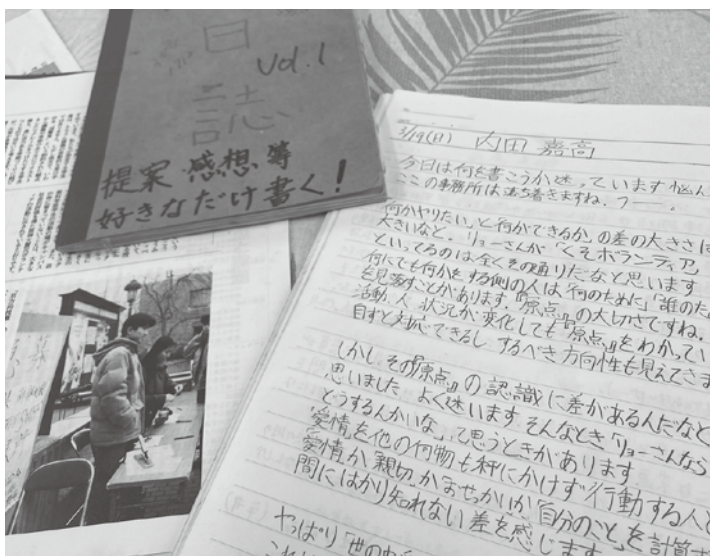
# 震災から 27 年

## 阪神・淡路大震災 支援の記憶

和歌山高齢者生活協同組合専務理事・内田嘉高

震災当時、立命館大学政策科学部1期生だった私は、大変なことだと大学に向かいました。1回生のみで学生自治会は元気がありませんでした。募金活動は2日間で数十万円集まり、被災地へ先遣隊としてバイクの2人組と私が1人電車で行くことになりました。

兵庫区の区役所で、被災者にブルーシートを切って渡す作業に従事しまし



た。鳴りやまないサイレン、住民の怒号、ピリピリした空気、のまれ、クタクタで帰る途中に見た大阪駅は何も変わっていません。人が行きかい、ネオンがともり、音楽も流れています。高槻市の実家で温かいご飯を食べ、お風呂に入る自分は偽善者ではないか、と落ち込んで活動から足が遠のきました。

ところが2週間後、友人から強く誘われ、もう一度現地に。被害が大きい長田区の支援拠点で私は運命的な出会いを果たします。高齢協前専務理事の上森成人さんです。違う学部でしたが、運転免許をもちトラックを運転していたので、強烈な印象をもちました。

ゆるい坂道が続くエリアで、自宅で避難生活をしている住民に給水タンクを届けました。ある日、高齢女性がとぼとぼと歩く姿を見かけました。避難所の学校へお連れしましたが、「あいてないぞ」と冷たく言われ、逃げるように隣の教室、また隣へ行き、ようやく迎えていただけたことがあります。おそ

らく認知症の症状がでていたのでらうと、今ならわかります。

ボランティアの中で社会人リーダーが1人おり、「絶対に差別や特別扱いをするな」と厳しく指導をしていました。住民の疑心暗鬼をまねくような行為は、信頼を失うということです。ぐうの音も出ないほど感服させられました。4月には新学期が始まり、活動は下火になりましたが、上森さんは地道に活動を続け、社会人リーダーの方は、実は指名手配犯だったようで、逮捕されました。数々の強烈な記憶を残してボランティア活動は終了しました。

卒業後、フリーターだった私に上森さんから一本の電話。「和歌山で高齢者のための生協をつくった。手伝ってくれないか」。和歌山は未踏の地でしたが、南海大地震のエリア。行くからには、阪神・淡路大震災の苦い経験を活かす働きをしようと思った。高齢協に就職したのが1999年12月。20年以上経ち、まだ地震は起きていませんが、来るその時には、全てをかけて人の役にたてる自分と高齢協でありたいとの願いは変わりません。コロナ禍や断水、事故などの経験から一歩強くなる私たちを目指します。



# 阪神・淡路大

## 大規模災害と助け合い

和歌山高齢者生活協同組合 監事・志場久起

阪神・淡路大震災の発生から27年が経ちました。四半世紀以上が経過しましたが、あの被災地の光景を今なお鮮明に覚えておられる方も少なくないと思います。組合員のみなさんのなかにも支援活動にあたりたり、支援物資や寄附を贈ったりされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。被害が明らかになるにつれ、被災地支援に入るボランティアが自然発生的に集まり、最終的に137万人以上のボランティアが被災地に入ったといわれます。国内の自然災害でこれほどのボランティアが活動したのは初めてだったので、1995年は「ボランティア元年」と呼ばれるようになりました。

この震災で、救助者の約8割が家族や近隣住民による救出だったという調査結果があるそうです（「平成26年防災白書」より）。消防署や警察署も被災し、被災範囲も広大で道路や水道などのインフラも大きく損壊しました。公的支援を待たず誰彼なく被災者の支援に向

かう、これは人間として自然な行動だったのかもしれない。行政機関や企業に委ねるのではなく「自分たちのことは自分たちで」という考えが広がる大きなきっかけになった一つの要因がこの阪神・淡路大震災でした。

1998年にはボランティアが組織的に活動しやすくなるよう、特定非営利活動法人（NPO法人）の制度が始まり、全国でボランティア活動や、地



域の課題解決につながる取り組みが広がっていきました。

2011年の東日本大震災では、ボランティアという「人の手」だけではなく、復興を後押しする「資金」の支援も急速に進みました。この年の震災関連の個人寄附総額は推計約5000億円にのぼった（日本ファンドレイジング協会の推計）ほか、ふるさと納税などの仕組みも普及し、2011年は「寄附元年」とも呼ばれます。

このように、大規模災害が発生するたびにボランティア活動や寄附金など、「助け合い」活動が展開されるようになりました。また、災害への備えの取り組みもずいぶん進み、災害に強いまちづくりが各地で進められています。

ただ、被災地で聞こえるのは、支援への感謝だけではなく「日頃からの地域のつながりが、非常時に役に立った」という声。阪神・淡路でも多くの方が家族や近所の方に救出されたという事実がそれを物語っています。非常時の備えには日ごろからの隣近所との助け合い、そして万の際には高齢協の組合員のようなつながりを生かした「地域を越えた助け合い」が必要といえるでしょう。



### 広瀬マスター、8年間ありがとうございました

組合員 池田 香弥



1回は2013年6月27日の「開店」でしたから、丸8年間、マスターを続けてくださったことになりました。

広瀬さんには狭心症の持病もあり、最近では体調不良の日も多くなったことから、引退を発表されました。紀和庵の世話役の上田眞利子さん(80)から感謝の花束が贈られ、アシスタントを務めてきた私からは赤いニット帽をお贈りしました。マスターよくお似合いですよ。

最終回の9日は、マスターのお好きな「第3の男のテーマ」「悲しくてやりきれない」「ここに幸あり」の3曲と、曲にまつわる想い出話をお聞きました。

また、参加された方々からはお一人ずつ優しい言葉を「言葉の花束」が贈られました。来年90歳になられる岡本さんは「辞めてしまうと元気がなくなりますよ。完全に辞めてしまわずに数を減らしてされたらどうですか?」。洋楽や映画音楽が大好きという玉置さんは「楽しい思い出をありがとうございました。私の孫もマスターと同じひのくま幼稚園、向陽高校。親しみを感じていました」。毎回、

和歌浦から1時間以上かけて自転車で来られていた石井さんは「暑い日も寒い日も、楽しいから来させてもらいました」。初参加だった早瀬さんは「僕は演歌ばかり聞いてきたんですが、映画音楽やフォークソングとか、こういう世界もあるやなあと思いました。僕は少年野球の指導を40年やってきた者です。人は諦めたらあかんと思います。もっと聞きたい」。世話役リーダーの神谷さんは「広瀬さんが前に話してくれたシーンのラストシーンは、僕も大好きなんです。来年は紀和庵のいろんな教室の参加者として来てください」。他にも感謝の言葉や思い出話が次々に話されて、あつという間に閉店の時間になってしまいました。

時折、涙ぐんでいらした広瀬さんは、こうおっしゃいました。「みなさんから温かい言葉をいただきました。これでまた生きていけます。音楽とともに、愛犬キースとロンと一緒に、元気でやっていきます」。参加者全員で記念撮影をしてお別れしましたが、広瀬さんとみんなでこんな約束をしました。

また、お会いしましょう。

名曲喫茶・特別編を楽しみに。みんな元気でいきましょうね。

高齢者の居場所、和歌山市中之島の紀和庵名物行事「名曲喫茶」のマスター、広瀬和彦さん(74)が引退されることになり12月9日、最後の名曲喫茶が行われました。クラシックからロック、ポップス、映画音楽、歌謡曲まで幅広い知識を披露しながらリクエストに応じていく様子は、まるで生のラジオ番組のようでした。第

# 告知板 「この指と～まれ！」

## 「紀和庵 2月の行事」 住所 和歌山市中之島782

- ・ 3日（木）…節分の豆まき
- ・ 8日（火）…からだの体操
- ・ 10日（木）…あたまの体操
- ・ 15日（火）…フラダンス
- ・ 17日（木）…歌をうたおう
- ・ 22日（火）…カラオケ
- ・ 24日（木）…腹話術



参加費等詳細とお申し込みは高齢協本部（073-488-1180）。  
※コロナウイルス拡大で中止の場合があります。ご了承下さい。

## 紙上で実践！すこやか講座④

今回は口腔機能に関してです。普段行っている【食べる】【呼吸をする】【話す】【表情をつくる】などは、すべて口腔機能が関係しています。これらの行為は自然に行っていることですが、加齢による身体の衰えとともに、口腔機能も低下していきます。普段のお口の手入れ（歯磨き）を怠ってしまうことや、食べやすいといった理由からやわらかい物ばかりを食べるなど、口腔機能の低下につながる原因は多く存在します。口腔機能の低下から【食欲低下】→【低栄養】→【身体機能の虚弱化】へとつながっていくのです。そうしたことにならない為にも、日常のお口の手入れ（歯磨き）や噛む力、飲み込む力を養うといった事が大切です。

### 【お口の衰え（オーラルフレイル）】を知るチェックリスト

※【はい】か【いいえ】で答えていただき点数を合計してください

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| ・半年前に比べて、かたいものが食べにくくなった  | 【はい（2点）・いいえ（0点）】 |
| ・お茶や汁物でおせることがある          | 【はい（2点）・いいえ（0点）】 |
| ・義歯を使用している               | 【はい（2点）・いいえ（0点）】 |
| ・口の渇きが気になる               | 【はい（1点）・いいえ（0点）】 |
| ・半年前と比べて、外出の頻度が少なくなった    | 【はい（1点）・いいえ（0点）】 |
| ・さきいか、たくあんくらいの硬さの食べ物が噛める | 【はい（0点）・いいえ（1点）】 |
| ・1日2回以上は歯を磨く             | 【はい（0点）・いいえ（1点）】 |
| ・1年に1回以上は歯科医院を受診している     | 【はい（0点）・いいえ（1点）】 |

0～2点：オーラルフレイルの危険性が低い 3点：オーラルフレイルの危険性あり

4点以上：オーラルフレイルの危険性が高い

口腔機能維持のため、歯磨き後に【30秒ぶくぶくうがい】をすることがおすすめです。

### 講師プロフィール



岡 利樹（デイサービスUUGO所長）

2016年4月から2019年3月まで和歌山高齢者生活協同組合の職員（デイサービス れくらん）として勤務し、現在は理事。2019年9月に紀の川市にデイサービスUUGOを開設。運動・栄養・社会参加に注力したサービスを実施中。また、紀の川市の65歳以上の方を対象とした配食サービスも実施中。



## 事業について

〈人生の完成期、輝いて生きる！〉をテーマに活動をすすめている高齢協は、今年度より組合員のニーズに応え、「人生の旅立ち応援事業」をすすめています。

事業スタートにおいて、担当の副理事長が通信講座で、年金、医療・介護保険などの社会保障制度、葬儀・お墓、遺産相続・保有資産の管理、老後の生活費など、人生の後半期における課題を学び、終活アドバイザーの資格を取得しました。それぞれの課題に対して、専門家と連携しながら的確にアドバイスすることをめざしています。

輝いて生きる日々の先に「いつか訪れる旅立ち」にむけ、学びあうことを目的に「人生の旅立ち応援講座」を11月、和歌山市立中央コミュニティセンターと、組合員活動拠点やまぐちささえ愛センターで開催しました（7面に詳細）。同内容で開催した両会場とも定員いっぱいの20人が参加し、初めての企画でしたが皆さんの関心の高さを大いに感じることができました。

講師のお話は具体的でわかりやすく、気負うことなく質問も出せたことが好評でした。人生の旅立ち応援事業としては、「自分らしいお葬式の生前予約」と「人生の旅立ち応援講座」を継続してすすめます。是非ご参加ください。



## 「自分らしいお葬式」を考えませんか？

人生の旅立ち応援事業の一環として、2008年から取り組まれていた「葬送の生前予約」の事業をさらに充実させて、拡げていきたいと考えています。

詳しくは今回の通信に同封してあるチラシをご覧ください。

### 次回「人生の旅立ち応援講座」開催のご案内

- ・ 2月19日（土）午後1時半  
白浜町立児童館（白浜町十九洲 226-12）
- ・ 3月26日（土）午後1時半  
和歌山市立中央コミュニティセンター（和歌山市三沢町 1-2）
- ・ 3月29日（火）午後1時半  
やまぐちささえ愛センター（和歌山市里 198-3）

いずれも要申し込み。参加費 200 円。

希望者は高齢協本部（073・488・1180）まで。

※コロナウイルス拡大で中止の場合があります。ご了承下さい。



# 人生の旅立ち

# 応援事業スタート



# 第一回応援講座のようす

当日はまず、講師をお願いした和歌山市の葬儀会社「公善社」の平尾靖仁さんから葬儀についてのお話。直葬、家族葬、一般葬、密葬などの違いや、連絡する範囲などの注意点を紹介いただきました。葬儀費用の相場や、葬儀プラン以外で別

料金になりがちなサービスなどを挙げ、「必要なもの、不要なものを考えておくことで、希望する形の葬儀ができます。事前予約をしておくのが良く、予約した場合は必ず家族にそのことを伝えておいてください」とのアドバイスがありました。

次に、和歌山市の善称寺住職、宇治田真宣さんからお墓のお話。墓じまいの事例から、子どもに負担をかけたくない心情と、負担が人によって異なる点などを整理してくださいました。また、永代供養は第一に今のお墓があるお寺に相談することがトラブル回避につながるなどのポイントも紹介されました。

宇治田住職は「形にこだわらず、色んな人や考え方があって良いという世の中になってきている一方、従来の仕組みとのギャップができてきています。『自分のことは自分で』と人に頼りにくい現代、子や孫に迷惑をかけたくないと考える人が増えているように思います。自分にとって、子や孫にとって、何が負担にな



公善社の平尾さん



善称寺の宇治田住職

るのかを見つけていくことが解決への一歩になります」と話されました。

最後に、終活アドバイザーの島久美子副理事長から「家族も自分も後悔しない、自分らしい旅立ちに向けてやってあげる」と題し、相続などの諸手続きに関する用意、身の回りの整理、エンディングノートなどについて紹介しました。





# 輝く！組合員！寅年生まれ編

2022年が始まりました。新型コロナウイルスの脅威は依然おさまりませんが、それでも和歌山高齢協は介護・福祉事業を続けることができ、組合員活動も活発に展開しています。このコーナーでは、そんな高齢協の事業活動を支える方たちの中から、今年の年男、年女のみなさんに登場いただきます。

## ① 笹木 誠次さん

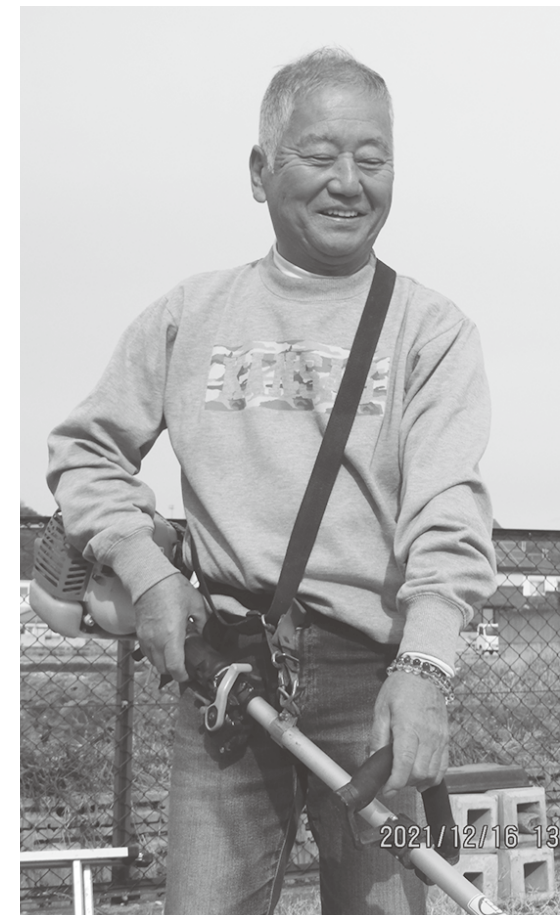
（令和お助け隊副隊長）

— 令和お助け隊の副隊長として活躍中です。

「隊長の補佐と、活動に必要な道具の準備、機材のメンテナンスなどを行っています。隊員それぞれが活動し

やすいよう、一人ひとりの得意分野を把握し、無理なく力を発揮できるように気を配っています。僕の場合は、看板屋で働いたことがあったので、簡単な大工仕事ができるので、塀の修繕などをさせてもらったこともありまし

— やりがいは。



2021/12/16 13

「一人暮らしの高齢女性が増えているように感じています。例えば水道漏れ。昔は簡単にパッキンを変えていたと思うのですが、それ

も困っている人もいます。簡単なものはたまに無償で受けて、つながらるを広げていくこともあります。喜んでる表情や言葉をもらえるところもうれしくなる。現役時代は、こんなに身近なことで困っている人がいるとは思っていませんでした」

— ほかにもどんな地域活動をされていますか。

「勝手にボランティアと名乗り、週2回、自宅近所の道と公園でゴミを拾っています。知らない人から『ご苦労様です』と思いがけない言葉かけをもらえたりしてうれしいですよ。音楽活動もしていて、ギターとボーカルを担当しています。フォークソングを中心に関西各地のライブハウスで舞台に立っています」

— 今後の展望は。

「作曲もするので、もうちょっとその方面で頑張ってみたい。歌詞をもらって曲をつける作業です。それと、あと2年で金婚式。それまで妻とけんかなどせず、お互い病気や体に気遣い合いながら無事結婚50年を迎えたいですね」



## ② 畑中晶子さん

(かみとんだあたっしや館 管理者)

— 介護の仕事を始めたまっかけは。

「大学進学を志していました  
が、受験練習にと受けた公立紀  
南看護専門学校が合格。ふとし  
たまっかけて看護の世界へ入り  
ました。学生時代に精神科で経  
験した実習がとにかく楽しかつ  
た。看護処置に忙殺される一般  
病棟と異なり、患者さんの声を  
聞いて、どう寄り添うかが大切  
な現場で、そこにやりがいを感じ  
ました。今は介護現場ですが、  
その人自身と向き合える点で同  
じです」



— 高齢協との出会いは。

「紀南病院で5年勤務してか  
ら出産のため退職。15年ほど現  
場を離れていましたが、元副理  
事長の串上様の紹介で高齢協  
に。現在は重度介護の利用者さ  
んメインで平均介護度は4ぐら  
い。認知症で対応困難例も多く、  
心身ともにハードな現場です  
が、学んだことを現場で実践し  
て認知症の周辺症状が和らいだ  
り、よそで手に負えないからと  
受けた利用者さんがうちの施設  
で落ち着いたり、やりがいを  
感じることも多いです。特に看  
取りは人生の完成期に寄り添わ  
せていただくことになるので、  
やりがいを感じますね」

— 管理者として今後の展望は。

「事故もなく安定した事業所  
運営を心がけていきたい。職員  
一人ひとりの技量も上げ、利用  
者さんに還元し、『あたっしや  
館に入って良かった』とおっ  
しゃっていただけるよう、日々  
研鑽を積んでいきたい」

## ③ 竹谷朱理さん

(ケアセンターあたっしや倶楽部  
れくらん 生活相談員)

— 介護の仕事を始めたまっかけは。

「もともと看護師にあこがれ  
ていたのですが、アルバイトを  
する中で高校卒業後は就職をし  
たいと思うようになりました。  
3年生の時に就職フェアでたま  
たま介護と出会い職場体験に。  
特別養護老人ホームでシーツ交  
換や利用者さんのおしゃべり  
など数日だけでしたが、しんど  
そうだというイメージよりも、  
良い雰囲気です。また利用者さん  
に会いたい』という気持ちが勝  
り、進路に決めました」

— 介護の仕事でやりがいを感  
じるのは。

「きつい時もあるし、給与も  
そんなに多いわけではないけれ  
ど、『楽しい』。それ以上に得ら  
れるものがあるということを、  
高校時代の私に教えてあげた  
い。デイサービスなので利用者



さんの自立度も高く、一緒にし  
クリエイションなども楽しめま  
す。『第二の家だ』と言ってく  
れる方もいて、人のぬくもりを  
感じられる仕事です」

— 今年はどんな一年にしまっ  
か。

「いつも上司や先輩に相談し  
がちな自分があるので、もっと  
判断力をつけたいです。また、  
介護にしばられず、心理学関係  
などの新しい資格にチャレンジ  
してみたいですね」

# 活動レポート

## カタログ購入で作業所応援



障害者の就労支援に取り組む和歌山県セルプセンターが、県内作業所15カ所の商品と農作物を紹介するカタログ「わっくる」を作成。11月18日にはやまぐちささえ愛センターで試食会を実施しました。

完熟のミニトマトを作業所で加工したミニトマトジュースは「すっきりして飲みやすい」、国産材料で作った金山寺味噌は「風味がある」などいずれも好評。その場で注文する方もおられました。カタログや商品についての問い合わせは県セルプセンター（073・499・6142）。

## 住民投票実現願う署名に感謝



前回の通信でお知らせした、和歌山マリナーシティに計画されているIR（統合型リゾート）の設置に関する住民投票を和歌山市に求める署名、多数の組合員さんの賛同、協力をいただき誠にありがとうございました。

おかげさまで、住民投票条例案を審議するための法定数（6200筆）の3倍以上となる2万833筆の署名が集まりました。1月7日には有効署名2万33筆を和歌山市長に届けました。今後、市議会での審議が注目されます。

## ささえ愛センター料金表

やまぐちささえ愛センターは組合員さんのための活動拠点です。が、まだまだ使用していない時間帯もありますので、借り会場として積極的にご利用ください。

### 《利用できる時間区分》

- ・午前の部＝午前9時～正午
- ・午後の部＝午後1時～午後5時
- ・夜間の部＝午後6時～午後9時

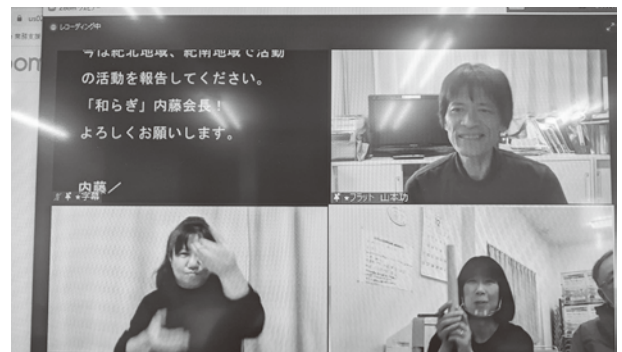
### 《1部あたりの料金（税込）》

- ・全員が組合員＝2,000円
- ・一部が非組合員＝4,000円
- ・全員が非組合員＝利用不可

### 《備考》

- ①グループごとに代表（担当）者を置いてください
- ②運営は利用者内で完結してください（鍵の開け閉め、集金&支払い、準備&片付け）  
利用希望は本部（073・488・1180）まで。

## 中途障害 考える講座



事故や病気で脳に損傷を負い、記憶力や注意力、言語能力などに支障をきたす高次脳機能障害のリハビリテーション講習会が12月4日に開かれました。高齢協が参加する実行委員会主催で、全国から約100人が参加しました。

当日は東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科の渡邊修教授が「高次脳機能障害のある方の社会的行動障害について」と題し講演。後半は、家族会や当事者メンバーによるトーク「みんなで語ろう ピアサポート」が行われました。



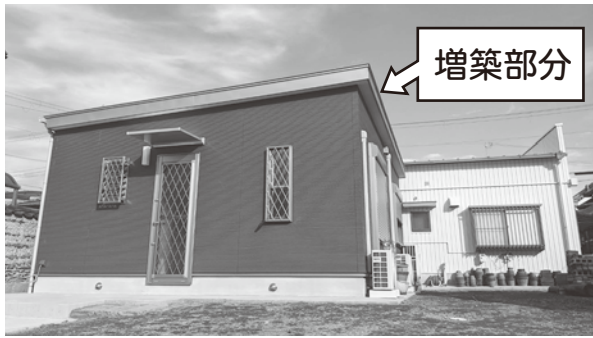
## ワークショップとして

# 増改築へのご協力ありがとうございました！

夏号でご紹介した、高齢協が運営する就労継続支援B型事業所「ワークショップとして」（和歌山市里266）の増改築工事が11月に完了しました！

多くの方からご寄付やご支援をいただき、誠にありがとうございました！

増改築工事へ、背中を押したのは「ココナ対策のために広いスペースが必要！」との思いです。従来のスペースでは定員いっ



ぱいの人数を受け入れることも難しく、また、ココナ禍で人と人との距離を保てないなどの課題がありました。裏庭の木を伐採し、約40㎡の建物を増築。元の建物も壁を取り払って、水回り

を移動させるなどして見通しが良くなり、人の移動もスムーズに。相談室と車いす対応のトイレも新設いたしました。

ありがたいことに30万円もの寄附協力をいただき、自転車置き場を設置できました。心より感謝申し上げます。

三密対策が取りやすく、用途に応じた細かな運用もできるようになり、どなたにも来てもらいやすくなったと感じています。工事に際し、わかやま農業協同組合かわなべ支店さんの駐車場をお借りしました。ありがとうございました！

交通事故や脳の病気によっておきる「中途障害」や「高次脳機能障害」という、だれもがなる可能性のある障害に、あたたかく、適切な支援ができるよう、一層努力してまいります。また、とこの横手香織所長は「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」を受講中です。すぐお力になれないことも多いかもしれませんが、お気軽に相談いただければ幸いです。



○ 工事中の様子 ○



○ 完成(増築部分) ○

# 映画紹介「ムービーガイド」

作品名：すばらしき世界

監督：西川美和 2021年製作



長い刑務所生活を終え更生しようとあがく主人公。彼を取り巻く人々の描き方が素晴らしい。ただ善意や職務で彼を支えるのではない。時には社会の常識にとらわれていたり、やるせない悲しみの人間のやさしさで彼を包み込む。直線的な正義感や弱者に対する向かい方が、時として生きることを難しくするこの社会。ぼくらの「すばらしき世界」は、どこにあるのだろう。

わかやま訪問介護事業所 島 哲也

## 組合員 新規加入&増資のお願い

高齢協は出資金を持ち寄って、組合員相互の助け合いの精神で活動する生協法人です。20歳以上で和歌山県内に住所（もしくは勤務地）を有する方ならどなたでもご加入いただけます。ご加入の際にお預かりした出資金は高齢協の事業に使われています。事業拡大に伴い、既組合員の方には増資（出資金を追加する）をお願いしております。ご協力をお願いします。

### ■新規加入・増資の方法

- ①所定の加入（増資）申込書にご記入ください。
- ②出資金（一口1000円〜）と申込書を、高齢協の各事業所が本部へご持参ください。

※申込書は高齢協の各事業所・本部・活動拠点にあり、郵送も致します。

出資金振り込みの場合…紀陽銀行東和歌山支店

普通 1647037

和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中秀樹

お問い合わせは本部事務局

和歌山市里198-1 電話073-488-1180 FAX073-488-1181

### ■加入によるメリット

- ・それぞれの「やってみたい」を助け合って実現できる
- ・組合員活動に参加することで、新しい仲間や生きがいの出会いがある
- ・高齢協からの通信が年4回届く

などなど

## 和歌山高齢者生活協同組合の姿

和歌山高齢者生活協同組合は組合員さんによる互助組織であり、互いの困りごとを助け合う集団です。生きがいつくり事業やお助け隊による生活支援など活動は多岐にわたり、介護・福祉事業にも力を入れています。

### ◎介護・福祉事業所（和歌山県内13ヵ所）

- ・わかやま訪問介護事業所（訪問介護）  
和歌山市楠見中240-49 電話073-455-7979
- ・和歌山ケアプランセンター（ケアプラン作成）  
和歌山市中之島758 電話073-424-5295
- ・やまぐち おたっしや館（サ高住）  
和歌山市里198-2 電話073-462-1055
- ・やまぐち訪問介護事業所（訪問介護）  
和歌山市里198-2 電話073-462-1055
- ・れくらん（デイサービス）  
和歌山市里198-2 電話073-462-5558
- ・ワークショップてとて（障害者就労継続支援B型事業所）  
和歌山市里266 電話073-461-6756
- ・伊都・橋本事業所（訪問介護）  
橋本市高野口町伏原243 電話0736-43-1546
- ・伊都・橋本ケアプランセンター（ケアプラン作成）  
橋本市高野口町伏原243 電話0736-44-2330
- ・御坊・日高事業所（訪問介護）  
御坊市園397-2 電話0738-23-0396
- ・かみとんだ おたっしや館（サ高住）  
西牟婁郡上富田町生馬3225-19 電話0739-47-0866
- ・田辺事業所（訪問介護）  
西牟婁郡上富田町生馬字救馬溪185-7 電話0739-47-0010
- ・白浜ケアプランセンター（ケアプラン作成）  
西牟婁郡白浜町才野1322 電話0739-34-2672
- ・白浜めぐもりの里（デイサービス）  
西牟婁郡白浜町才野1322 電話0739-34-2172

### ◎組合員による活動拠点（施設の使用、問い合わせなどは本部073-488-1180へ）

- ・やまぐちささえ愛センター 和歌山市里198-3
- ・和我楽の家 紀の川市上野299-1
- ・いっぶく亭～紀和庵 和歌山市中之島782

### ◎組合員の活動（ご参加ください）

【お助け隊】和歌山、伊都、御坊、田辺を中心に活動。暮らしの中の困りごとの解決依頼を受け、現役時代の知識や経験を生かして有償ボランティアで活動する。

【JIAS PC（パソコンサークル）】月曜と金曜、紀和庵にて。パソコンを使ってのアルバム作成やワープロの練習、使い方の教え合いなど。（北村さん090-7107-0892）

【どこ竹@わかやま】竹とんぼ作りの出前教室を小学校やイベント会場で開催。（石橋さん090-2287-9588）

このほか、ささえ愛センターや紀和庵では、健康体操や絵手紙教室、名曲喫茶など組合員による自主企画が行われています。

◎本部（〒649-6311 和歌山市里198-1 電話073-488-1180 FAX073-488-1181）